

大学入試変更点



大学入試の変更点

■ センター試験について

「センター試験」に代わり「大学入学共通テスト」に
→「知識・技能」だけでなく「思考力・判断力・表現力」を一層重視

英語

- ・筆記（リーディング）（80分）※サンプルあり
- 文法問題が無くなる。また、指示も全て英語に。
- ・リスニング（60分 ※解答時間 30分）

+民間の検定試験。民間試験は4技能をすべて均等に得点化。

国語・数学

一部記述問題を導入※サンプルあり

■私大への影響

① 「思考力・判断力・表現力」を一層重視の傾向は私大にも

早稲田大学の入試改革①（HPより）

2021年度 一般選抜（現行の一般入試）および大学入学共通テスト（現行の大学入試センター試験）を利用した入試の改革

すでに現行の一般入試問題でも、単なる「知識」だけではなく、「思考力・判断力」および「表現力」を必要とする問題を出題しています。こうした出題についてさらに工夫を加えて、高校までの学習をより適切に評価できるように努めてまいります。

それに加え、Web出願時に、「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験（注）を記入してもらうこととします。

（注）

学校が作成する調査書に記載するのではなく、受験生本人が自分自身の経験を振り返り、文章化してもらいます。記入は出願要件としますが、得点化はしません。

早稲田大学の入試改革②

政治経済学部・国際教養学部・スポーツ科学部で「大学入学共通テスト」必須化。

政治経済学部

2020年度まで	2021年度より
・外国語（90点） ・国語（70点） ・世 or 日 or 数（70点）	・大学入学共通テスト（計100点） ①外国語 ②国語 ③数学ⅠA ④世 or 日 or 地 公民 数学ⅡB 理科
	・英語外部検定試験（30点程度予定）
	・学部独自試験（70点程度予定）※サンプルあり →1科目のみで実施。日英両言語による長文を読み解いた上で解答する形式。記述解答含む。

定員：450名→300名

国際教養学部

2020 年度まで	2021 年度より
<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語（85 点） ・ 英語 4 技能試験結果（15 点） ・ 国語（50 点） ・ 世 or 日 or 数（50 点） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入学共通テスト（配点未定） ①国語（必修） ②選択科目（1 つ選択）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語外部検定試験（スコア提出者に加点）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部独自試験（英語）

スポーツ科学部

(HP より一部抜粋)

A群 (定員 150名)

試験概要

現行の一般入試 (定員 100名)、センター利用入試 [センター＋一般方式] (定員 50名) に当たるもので、以下の試験により選抜します。

(2) 試験内容

- 1) 大学入学共通テスト 2 科目
- 2) 学部独自試験 (小論文)

B群 (定員 50名)

(1) 試験概要

現行のセンター利用入試[センターのみ方式] (定員 50名) に当たるもので、以下の試験により選抜します。

(2) 試験内容

- 1) 大学入学共通テスト 4 科目

大学入学共通テストの利用科目等は、2018 年 12 月末を目途に公表する予定

②「英語外部利用入試」は拡大中

→ 4技能が主流になっていくのではないかと

英語外部検定を入試に利用した大学数

